

志桜小だより

学校ホームページ <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shiozze/>

学校メールアドレス web-shio@hodatsushimizu.jp

めざす児童像 ○目標をもち 自ら進んで学び よく考える知恵のある子

○強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子

○困難に打ちかつ気力・体力のある子



カラー版をご覧ください。

7月号

宝達志水町立志桜小学校

TEL 29-2052

FAX 29-2069

校長 宮下 慶子



1/1 3年生、千里浜再生プロジェクト 2025に参加

7月1日、3年生は、千里浜再生プロジェクト実行委員会主催のプロジェクトに参加しました。

志桜小と押水小3年生が今浜海岸に集いました。

地引き網体験やヒラメの稚魚の放流、そして一人一砂運動としてミニバケツ1杯の砂を浜にまいたりしました。ふるさとの海、砂浜の大切さを再認識したひとときとなりました。



寿司打 ランキング発表！



RANKING

1位	北村 勇人	¥1,980
2位	小山 珠凜	¥1,440
3位	浜池 莉乃	¥1,280
3位	金曾 正宗	¥1,280
3位	北本 蓮太郎	¥1,280



RANKING

1位	安達 優翔	¥8,460
2位	油谷 祐利	¥7,280
3位	平野 幹大	¥6,840
4位	丸山 凱斗	¥5,340
5位	丸山 明日海	¥4,980



RANKING

1位	1組	北野 淳大	¥8,160
2位	2組	國田 紗彩	¥6,600
3位	2組	田上 紗夏	¥6,360
4位	1組	澤田 和也	¥6,000
5位	2組	板部 紗也	¥4,980
5位	2組	山田 智菜実	¥4,980
5位	1組	岡山 悠希	¥4,980



RANKING

1位	1組	中村 莉菜	¥8,660
2位	1組	岩水 垣乃花	¥7,280
3位	2組	北山 歩果	¥7,080
4位	1組	板井 由理子	¥6,600
5位	1組	奥野 瑠花	¥6,000



3年生以上の志桜っ子は、「寿司打（ローマ字入力用タイピング練習ゲーム）」をちょっとした空き時間に利用し、文字入力のスピードアップを図っています。学年ごとに、スコアのランキングが発表されました。上位のこども達は、かなりの腕前です。ご家庭で親子バトルをして、腕前の向上を図るのもいいですね。

6年生、 人工イクラづくりに挑戦！

6月23日・24日、6年生の2クラスで科学実験教室が行われました。

金沢科学こども財団の木谷誠治先生から、海藻の成分であるアルギン酸ナトリウムの水溶液を塩化カルシウム水溶液の中に入れると人工イクラができる教わり、とても驚いていました。

人工イクラに入れた食紅の代わりに、それぞれが好きな色のえの具を入れるとカラフルな球体の完成！水を入れたペットボトルに入れるとオリジナルインテリアの完成です。きれいな丸い形となるように慎重に器具を扱い、真剣に取り組んでいました。身の回りにある科学に興味を持ち、その不思議について感じることができました。

6/27 2年生、

生活科の学習で町探検①へ

6月27日、2年生は2チームに分かれて町探検に出かけました。第一弾の今回はさくらドームとJAたんぽぽディサービスセンターです。今後、たにぐち製菓さん、お茶の油谷さん等にも出かける予定です。

生活科の町探検は、地域の場所と自分との関わりを見つけ、親しみをもって適切に利用したり、安全に生活したりする力を身につける学習です。

シリーズ
非認知能力

志桜小学校では
こども達の非認知能力を
大切に考えています。



校内のお花より
by越野用務員さん



志桜小学校では、開校とともにこども達の「非認知能力」をすべての教育活動のベースにと考えています。(こども達には、上図の様に「3つの力」として伝えています。)

今、教育の場面で「非認知能力」がクローズアップされています。

そこで、「志桜小学校」で、少しずつ「非認知能力」について、お伝えしたいと思います。『AERA with Kids』(朝日新聞出版)からの紹介です。

Qなぜ、教育で
非認知能力が
重視されるよう
なったのですか？

A 文部科学省 主任視学官 田村 学 氏

「これから時代を生きるのに、確実に必要な力だからです。…人の意見に耳を傾ける、課題への対処を自分で判断する力です。…「心の傾向」つまり非認知能力も学力(認知能力)とともに極めて大切なことです。

新学習指導要領には、ここをていねいに見て、育もうという思いがあります。だれかと協力して課題を成し遂げる、あきらめずにやり抜く力などは一層重要なと言われます。そして、それが自信や自己肯定感につながっていく。私は、非認知能力は、『人生を豊かにする力』だと思っています。

そして、非認知能力を駆使すると認知能力(学力調査等で測定可能な力)も伸びることが解明されはじめています。知識を使ったり人に説明したり、一緒に問題解決したりする方が、『知識』はより、安定的に獲得されるということが分かってきているのです。」

